

令和3年度（2年度対象）

教育委員会の点検・評価報告書

令和3年8月

土佐清水市教育委員会

土佐清水市教育委員会の活動について

土佐清水市教育委員会では、「土佐清水市教育振興基本計画Ⅱ」に基づき、「ふるさとを愛し、ジョン万スピリットを持って日本や高知の未来をきり拓く人づくり」「学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち」を基本理念に、幼児教育や学校教育の充実、各施設の教育条件・環境の整備等をはじめ生涯学習の推進や生涯スポーツの振興などについて、家庭・保育所等・学校・地域住民及び関係機関が一体となって教育施策を推進してまいりました。

主な施策としては、月1回の定例教育委員会や臨時教育委員会において、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び土佐清水市教育委員会教育長事務委任規則等に基づき、所管課から提出された条例や規則等の制定や改正、予算、職員の任免その他の人事に関する事などの審議をはじめ意見交換等を行いました。

また、年1回保育所等や小中学校、2年毎に中央公民館などの教育委員会所管施設を訪問し、各保育所や学校など、社会体育施設の課題や取り組み等について教職員などと意見交換を行い、本市の教育行政が適正に推進されているかを検証してまいりました。

土佐清水市における教育振興施策の推進を図るために策定した「土佐清水市教育振興基本計画Ⅱ」につきましては、令和2年度末までの計画となっておりましたので、高知県教育委員会と更なる連携を図るため、第3期高知県教育振興基本計画との整合性を考慮し、令和3年度から6年度までの4か年を計画期間とした「土佐清水市教育振興基本計画Ⅲ」を策定いたしました。今後も、本計画に基づき、教育の質の向上に向けて総合的かつ計画的に取り組みをすすめてまいります。

また、土佐清水市の学校教育等における課題の一つであります学校等規模の適正化につきましては、平成27年度から保育所5園、幼稚園1園、平成30年度から小学校6校、中学校1校の体制となっておりますが、ここ数年の出生者数の推移から今後も児童等の減少が続くことが見込まれます。

土佐清水市教育委員会といたしましては、子どもたちにとって望ましい教育環境づくりを推進するためには小学校等再編を視野に入れ、引き続き児童数等の推移を注視するとともに、学校等の状況や、保護者の意向等を踏まえながら、適切な対応を図ってまいりたいと考えております。

次に、主な取り組みといたしましては、国のかかげるGIGAスクール構想として令和5年度までに児童生徒に一人一台タブレットを整備する計画だったものを、新型コロナウイルス感染症など、感染症の発生や災害等に備えるため、「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」として、令和2年度に前倒して市内小中学校全児童生徒にタブレット及びWi-Fi環境を整備いたしました。

ソフト事業としまして、働き方の改善に向け補助制度等を活用した特別支援教育支援員や放課後等学習支援員、多忙化解消支援員などを配置して、教育環境の整備や教員の多忙化解消に努めるとともに、非常勤講師を派遣し、体力や学力向上、郷土史学習、外国語活動などの推進を図り、教員の授業力向上と組織力の充実・強化のため、大学教授等を招聘した研修

会や講演会なども実施いたしました。

近い将来、発生が危惧されている南海トラフ地震等の災害から児童生徒の生命を守るため、令和2年度は清水小学校を「高知県実践的防災教育推進事業」の指定校として、専門知識をもった講師による避難訓練・防災教育・公開授業等の実施をはじめ、高知県が実施する「学校防災アドバイザー派遣事業」を導入し、「自然災害などの状況や原因、防止方法などについて理解を深めるとともに、危険を予測し、自らの判断で回避する能力」の育成等に努めてまいりました。また、保育所等におきましても、毎月必ず避難訓練や保護者への引き渡し訓練等を実施し、子どもたちの安全を確保するために取り組んでおります。

その他、新型コロナウイルス感染症対策として、奨学資金対象者応援事業として1万円相当の土佐清水市の特産品等を奨学資金対象者へ送付したり、学校や保育所等に消毒液、フェイスシールド、非接触型体温計などを購入し環境整備をいたしました。

生涯学習の推進につきましては、学習機会の充実と学んだ成果を活動につなげていくことができる仕組みをつくるために、社会教育施設を管理運営する指定管理者と連携を図り、「学習」に対する市民ニーズの把握や、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため夏季大学やスポーツフェスティバル等の各種事業が中止となったものの歴史講座等の開催や各種スポーツ教室等を開催し、生涯スポーツ・文化芸術の振興に取り組んでまいりました。

少子高齢化の進行と人口減少が続く中、共働き家庭の増加による親子間や地域住民とのつながりの希薄化により、地域が家庭や子どもを見守り支える機能が低下していることなどが指摘されています。こうした状況をふまえ、家庭・学校・地域が連携・協働して、地域全体で子どもたちを見守り育てていく仕組みである、地域学校協働本部を各学校に設置し、地域と学校が連携・協働した取り組みを進めています。また、子どもの健全育成を図る中核的な活動拠点として、放課後子ども教室や、放課後児童クラブを開設し、放課後等の適切な遊びや生活の場を与えて、子どもの安全・安心な居場所づくりと健全育成に努めています。

「土佐清水市史」刊行から40年が経過し、その間に市内の景観や市民の生活様式も大きく変化しています。また、歳月の経過とともに昔の土佐清水市を知る方々が少なくなる中で、市の礎を築かれた先人の労苦を記録し、貴重な自然や歴史・文化遺産を市民共有の財産として後世に継承することを目的に、令和4年度刊行に向け、市史編さんに取り組んでいます。

教育センターにおきましては、「教育研究や調査活動の取組・支援による本市教育の充実・強化、不登校児童生徒の未然防止・早期発見早期対応」・「スクールソーシャルワーカー（SSW）による生徒指導上の課題に対しての児童・生徒の支援」・「不登校児童生徒の自立を支援する適応指導教室の充実（アウトリーチ型スクールカウンセラーの配置）」・「規範意識を持った児童生徒の育成及び非行防止を目的とした寄り添う補導による青少年健全育成の充実」・「個々の子どもや家庭に対する効果的な援助による子どもたちの福祉の向上、その権利の擁護」を基本として、教育センター内の教育研究所・SSW・適応指導教室・少年補導センター・家庭児童相談室が一体となり、本市教育の振興と充実、子ども達の健全育成、児童家庭福祉の向上に向け、取り組みを実施しました。

このように教育委員会が令和2年度に取り組んだ活動などを、「教育委員会活動の自己点検・評価」として報告書にまとめました。

市民の皆様におかれましては、報告書をご覧の上、ご意見・ご要望等をお寄せいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

令和3年8月

土佐清水市教育委員会

1, 教育委員会の点検評価の目的

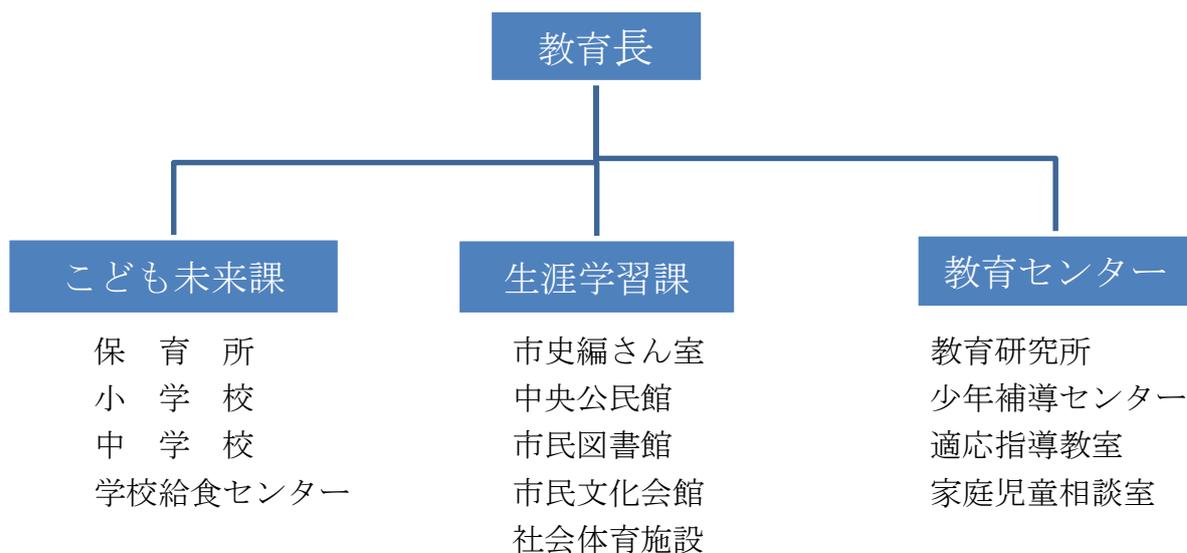
教育行政の効果的推進と市民への説明責任を果たすため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条」に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出・公表するものです。

2, 教育委員会の活動概要等

① 員構成（教育長及び委員4名） 令和3年8月1日現在

教育長	岡崎 哲也
教育長職務代理者	山下 佳一
委員	矢野川 正道
委員	酒井 万里子
委員	増田 百恵（保護者代表）

3, 教育委員会事務局の組織図



4, 教育委員会会議の開催状況

- ① 定例会：12回
- ② 臨時会：5回

5, その他の活動

- ① 学校・保育所・幼稚園 訪問：1回
- ② 施設訪問：1回
- ③ 研修会：3回
- ④ 総合教育会議：1回

令和3年度（2年度対象）土佐清水市教育委員会 評価シート

1. 自己点検・評価

大項目	中項目	小項目	成果 及び 評価		
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議	① 開催状況	①定例会を会議規則で定めたとおり毎月1回開催（12回）、臨時教育委員会5回開催した。	4	
		② 運営上の工夫	①議案・資料を事前に配布し、事前学習や情報交換を行った。	4	
	(2) 教育委員会と事務局との連携		①情報・意見交換等を行うと共に、各委員専用の文書棚を設置し情報が早く正確に伝わりやすくした。	4	
	(3) 教育委員の自己研鑽		①幡多市町村教育委員会連合会の研修会に2回、県市町村教育委員会連合会主催の研修会に1回参加。 ----- ②毎定例会開催前に、教育委員と教育長等とで情報交換などを行った。 ----- ③各種講演会に出席し、自己研さんに努めた。	3	
	(4) 支援・条件整備	① 学校、保育等訪問・支援	①小学校6校、中学校1校、保育所5園、幼稚園1園を訪問し、保育・授業参観後、学校等の課題や取組等について、教職員などと意見交換を行った。	4	
		② 所管施設訪問・支援	①中央公民館や市民体育館など所管施設を訪問し、各施設の現状や課題などについて意見交換を行った。 ②卒業式などの学校行事への参加など、必要に応じて所管施設等の訪問や支援を行った。	3	
	(5) 総合教育会議		①総合教育会議を1回開催し、市長と意見交換等を行い共通認識を図った。	3	
	2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育行政の基本的な方針に関する事。		①教育行政方針 ②いじめ防止基本方針 ③教育振興計画Ⅱ（平成30年度～令和2年度）	4
		(2) 教育委員会規則等の制定または改廃に関する事。		◎制定3件 ①土佐清水市立学校教職員の服務に関する規則 ②土佐清水市子ども家庭総合支援拠点設置要綱 ③土佐清水市学校運営協議会規則 ◎改正5件 ①土佐清水市社会教育指導員職務及び服務に関する規則の一部改正 ②土佐清水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担金等に関する規則の一部改正 ③土佐清水市家庭児童相談室設置規則の一部改正 ④土佐清水市不登校児童生徒相談員等設置規則の一部改正 ⑤土佐清水市教育委員会招致外国青年任用規則の一部改正	4
		(3) 職員の任免その他の人事に関する事。		①令和2年度小・中学校教職員人事異動方針 ②教育委員会事務局職員の退職承認 ③教育長職務代理者の選任 ④教職員人事異動 ⑤教育委員会職員の人事異動	4
(4) 教育予算等の議会の議決を経るべき事件の議案について意見の申し出に関する事。			①土佐清水市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 ②土佐清水市税外収入の延滞金等の徴収及び滞納処分に関する条例の一部改正 ③教育委員会事務局各課の予算	4	
(5) その他教育委員会が管理・執行する事務			①教科用図書の推薦・採択 ②教育委員会の点検・評価 ③市指定文化財の指定 ④ファミリーサポートセンター事業委託業者の選定	4	

3 管理・執行を教育長に委任する事務	(1)	学校教育に関すること。	①	<p>学校教育内容・体制の充実</p> <p>①高知県教育版アクションプランを導入し、特別支援教育支援員を小学校に5名、中学校に3名、多忙化解消支援員を小学校に3名、中学校に1名配置をはじめ、学力や体力向上、文化的学習支援などを図るため、非常勤講師の派遣を行った。</p> <p>②高知県放課後等学習支援事業を導入して、学習支援員を清水小学校3名、下ノ加江小学校1名、三崎小学校1名、清水中学校2名配置し、放課後や夏季休業時等に学習支援を行った。</p> <p>③養護教諭未配置校（足摺岬小学校）に、県スクールヘルスリーダー派遣事業を導入し、養護教諭1名を派遣し支援を行った。</p> <p>④スクールカウンセラー2名を毎週1日配置し、児童生徒や教職員等の相談を受けた。</p> <p>⑤ALTを2人雇用し、保・幼・小・中学校に派遣を行い英語教育の充実に努めた。</p> <p>⑥教職員等で組織した学力向上検討委員会において全国学力・学習状況調査の自校採点結果をもとに、学力向上等に向けた分析等を行い、各学校に提案し、授業改善等を図った。</p> <p>⑦ハイパーQU（より良い学校生活と友達づくりのためのアンケート調査）を全小中学生を対象に実施し、児童生徒の生活状況等の把握し、クラスでの人間関係の改善等に努めた。</p> <p>⑧山の学習支援事業を導入し、（足摺岬・下川口小学校）ヤブツバキの苗木作りや海の生き物学習など、自然や勤労生産等に関わる体験活動を実施した。</p>	4
			②	<p>教育条件（環境）の整備</p> <p>①通学路安全対策連絡協議会を1回開催し、警察等関係機関と通学路の交通安全確保に向け意見交換を行い、歩道の拡充や案内表示の設置などを行った。</p> <p>②小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校への一人一台タブレット購入 ・全小学校へのタブレット充電保管庫購入 ・全小学校の普通教室、特別教室、体育館へのWi-Fi環境の整備 <p>③中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一台タブレット購入 ・タブレット充電保管庫購入 ・普通教室、特別教室、体育館へのWi-Fi環境の整備 	4
			③	<p>その他学校教育に関すること</p> <p>④経済的な理由から就学困難な家庭の内、新入学児童生徒がいる家庭に対して援助している新入学児童生徒学用品費の支給日を入学式前に変更し、対象となる児童生徒の利便性を図った。</p> <p>⑤いじめ防止等のために組織している「いじめ問題対策連絡協議会及びいじめ問題調査委員会」を各1回開催し、市いじめ防止基本方針や本市のいじめの状況や対策について共通認識を図った。</p> <p>⑥大学准教授等、地震に関する専門家を招聘して、県の実践的防災教育推進事業の拠点校である清水小学校では、「自ら判断し主体的に行動できる子どもの育成」をテーマに地域と連携した様々な取組を行い、各学校においても防災意識や防災力の向上に努め、実践的な防災教育の充実に努めた。</p> <p>⑦市奨学資金を高校生（新規5名、継続17名）、短大生等（新規12名、継続16名）、大学生等（新規6名、継続51名）に貸与し、就学の機会均等を図った。</p>	4

3 管理・執行を教育長に委任する事務	(2)	生涯学習に関すること。	① 生涯学習課所管	①成人式 ○成人式実行委員会に企画運営を委託し開催予定であったが新型コロナウイルス感染症予防のため延期 検討会議3回 開催日 1月3日開催予定が5月2日に延期となった。 (対象者=119名)	4
				②文化財の保護及び活用 ○幡多地区文化財保護連絡協議会(宿毛市) ○市内文化財実態調査 自然災害碑(文化財指定) 吉福家・遍路道 ○文化財防火デー(防火訓練=消防本部と合同) 「真念庵」 消防設備点検・消火訓練R3.1.26 ○遍路道の保全・環境整備 真念庵付近、くじら道の環境整備(手すりの設置、橋の改修)真念庵、窪津海蔵院の説明板設置	4
				③文化、芸術活動の充実 ○第60回土佐清水市美術展覧会(10/16日~21日) 出品数 202点(出品者数140名) 洋画(58点)、日本画(21点)、書道(22点)、 写真(63点)、彫塑工芸(38点) 入場者数 1,168人 ○土佐清水市文化協会事業として第38回文化祭を開催 (10/31・11/1) ○第26回土佐西南文化交流祭『in 四万十市』は、新型コロナウイルス感染防止のため中止。	4
				④子育て支援 ○放課後児童健全育成事業(学童保育) 保護者が労働等により、昼間家庭にいない児童を対象に家庭的な環境のもと発達段階に応じた遊びや生活が可能となるよう、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、児童の健全な育成に努めた。(清水小学童保育所父母の会に委託して実施) 開設日数:286日、利用児童数:43名(令和2年4月1日) ○放課後子ども教室推進事業(参加児童数) 放課後の子どもの安心・安全な居場所づくりを推進した ①のびのびスポーツ教室(市民体育館) 1日 14名 ②中央公民館放課後子ども教室(清水小) 218日 31名 ③下ノ加江小学校放課後子ども教室 157日 15名 ④幡陽小学校放課後子ども教室 105日 7名 ⑤三崎小学校放課後子ども教室 118日 15名 ⑦下川口小学校放課後子ども教室 71日 12名 ○学校支援地域本部事業 地域住民が学校の教育活動に関わり、「学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制づくり」に取り組んだ。 ①学習支援(清水・下ノ加江・幡陽) 2,224時間 ②放課後学習支援(清水中) 10時間 ③部活動支援(清水中) 47時間 ④環境整備(下ノ加江・幡陽・足摺岬) 清水小・中以外全て 480.5時間	4
				⑤社会教育団体に対する活動支援 連合婦人会、青年団、PTA連絡協議会、文化協会	3

3 管理・執行を教育長に委任する事務	(2)	生涯学習に関すること。	②	中央公民館	<p>指定管理者である特定非営利活動法人「図書館結の会」に管理・運営を委任し、「まなぶ」「つどろ」「むすぶ」をキーワードに各種様々な事業を実施した。心身ともに健康で豊かな生活を送れるよう、市民の学習意欲に対応した課題解決の場・学習の場・交流の場を提供した。</p> <p>○第55回夏季大学講座 「心豊かな人づくり・うるおいのあるまちづくり」を基本に4講座を実施予定であったが新型コロナウイルス感染防止のため中止。</p> <p>○歴史講座 土佐の山城～土佐清水編～ 習 ・大岐城、本奈路の現地学習 2/6(土) 松田直則 受講者 20名</p> <p>○放課後子ども教室推進事業(中央公民館教室) 登録児童数 93名、協働活動支援員 5名 開設日数 218日</p> <p>○公民館サークル事業(36サークル、338名) ①サークル文化展(2/20～23) 出展数、11サークル(103名/157点) 入場者数303名 ②サークル発表会(3/13) 11サークル(80名) 入場者数102名</p> <p>○施設提供 ①件数 944件、人数10,223名、使用料328,870円</p> <p>○防災活動(避難者の受入) ①件数1件</p>	4
			③	市民図書館	<p>指定管理者である図書館結の会に管理運営を委任し、市民に親しまれ、市民の交流の場としても気軽に利用できる開かれた施設をめざし運営を行った。</p> <p>○所蔵資料数 図書 94,918、雑誌 2,302、AV 1,220、その他 3</p> <p>○利用状況 開館日数 302日(移動図書 65日) 入館者数 21,276名 貸出人数 9,785名(移動図書 2,237名) 貸出冊数 36,461冊(移動図書 13,983冊) ※ 移動図書ステーション数 30カ所</p> <p>○企画展示(30テーマ、展示冊数 833冊)</p> <p>○各種行事・展示 ①おはなし会(よんでよむぜ) 第2・4日曜日 12回 乳幼児よみきかせ 第3水曜日 5回 ②出張読み聞かせ 幡陽小 10回、足摺岬小12回、</p> <p>③人形劇(こぐま座) 保育所等 5回 ④パネルシアター(野原うさぎ) 保育所等 4回</p> <p>○各種講座 ①海辺の宝箱づくり こども 8名 大人7名 ②海の中まで知ってQ こども29名 大人14名 ③加久見氏居館跡試掘調査で出土した埋蔵文化財 20名 ④ブックトーク研修会 こども 12名 大人12名 他7講座</p> <p>○諸行事 ①第38回土佐清水市読書感想文コンクール 小学校 376名、中学校 225名、高校生 36名 ②ブックスタート事業(毎月第3火曜日 5回) 絵本の贈呈、読み聞かせ実施 親子 33組</p> <p>○雑誌スポンサー事業開始(H27.9.1開始) R3.4現在 10社(14誌)</p>	4

3 管理・執行を教育長に委任する事務	(2)	生涯学習に関すること。	④	市民文化会館	<p>指定管理者である土佐清水商工会議所へ管理運営を委任し文化拠点として、市民が親しみ、学び、交流できる場として文化・芸術鑑賞の機会を提供した。</p> <p>○施設利用状況</p> <table border="0"> <tr> <td>ホール</td> <td>56件</td> <td>延べ</td> <td>2,905名</td> </tr> <tr> <td>リハーサル</td> <td>110件</td> <td>延べ</td> <td>914名</td> </tr> <tr> <td>展示室</td> <td>27件</td> <td>延べ</td> <td>492名</td> </tr> <tr> <td>展示コーナー</td> <td>24件</td> <td>延べ</td> <td>557名</td> </tr> </table> <p>○地域文化活性化事業（6事業を実施）</p> <table border="0"> <tr> <td>音楽公演</td> <td>1事業</td> <td>261名</td> </tr> <tr> <td>映画上映</td> <td>2事業</td> <td>345名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3事業</td> <td>482名</td> </tr> </table>	ホール	56件	延べ	2,905名	リハーサル	110件	延べ	914名	展示室	27件	延べ	492名	展示コーナー	24件	延べ	557名	音楽公演	1事業	261名	映画上映	2事業	345名	その他	3事業	482名	4
			ホール	56件	延べ	2,905名																									
	リハーサル	110件	延べ	914名																											
展示室	27件	延べ	492名																												
展示コーナー	24件	延べ	557名																												
音楽公演	1事業	261名																													
映画上映	2事業	345名																													
その他	3事業	482名																													
⑤	社会体育施設	<p>指定管理者であるスポーツクラブ「スクラム」へ管理運営を委任し、青少年の健全育成や高齢者の健康増進等地域住民を対象に生涯スポーツの振興を図るとともに、社会体育施設の適正な維持管理を行った。</p> <p>○体育協会事業</p> <table border="0"> <tr> <td>①第43回市民体育祭</td> <td>6種目、233名</td> </tr> <tr> <td>②第24回あしずりテニス大会</td> <td>194名</td> </tr> <tr> <td>③第54回足摺ロードレース</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>④第53回あしずり駅伝大会</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>⑤第6回土佐清水スポーツフェスティバル</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>⑥県民スポーツフェスティバル2020</td> <td>3種目、22名</td> </tr> </table> <p>○スポーツ少年団</p> <table border="0"> <tr> <td>①第29回スポーツ少年団総合交流大会</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>②第3回ジョン万カップバレーボール大会</td> <td>290名</td> </tr> </table> <p>○スポーツ賞（3/3）</p> <table border="0"> <tr> <td>団体1</td> <td>個人8名</td> </tr> </table> <p>○キャンプ合宿誘致活動 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により参加なし</p>	①第43回市民体育祭	6種目、233名	②第24回あしずりテニス大会	194名	③第54回足摺ロードレース	中止	④第53回あしずり駅伝大会	中止	⑤第6回土佐清水スポーツフェスティバル	中止	⑥県民スポーツフェスティバル2020	3種目、22名	①第29回スポーツ少年団総合交流大会	中止	②第3回ジョン万カップバレーボール大会	290名	団体1	個人8名	4										
①第43回市民体育祭	6種目、233名																														
②第24回あしずりテニス大会	194名																														
③第54回足摺ロードレース	中止																														
④第53回あしずり駅伝大会	中止																														
⑤第6回土佐清水スポーツフェスティバル	中止																														
⑥県民スポーツフェスティバル2020	3種目、22名																														
①第29回スポーツ少年団総合交流大会	中止																														
②第3回ジョン万カップバレーボール大会	290名																														
団体1	個人8名																														
(3)	教育センター	①	少年補導センター	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・警察・地域、関係団体と連携を取りながら巡回活動等に重点を置き、早朝・夜間補導を定期的に行った。 ・夏季休暇期間中も、警察と合同パトロールを実施したほか、深夜補導等も実施した。 ・スクールガードリーダー2名を配置し、市内小学校を中心に登下校時の見回り活動等を実施した。 ・街頭犯罪の抑止及び子どもの通学路等の安全を守るため、市民図書館屋上北側に設置した子ども見守りカメラにより、安全安心なまちづくりの実現を図った。 ・各地区青少年を守る会による地域でのあいさつ運動、親子ふれあい活動や奉仕活動、体験学習・見守り活動等の、自主的な青少年育成活動を支援した。7地区 ・パトロール巡回数：514回・補導活動従事者数：762人・補導件数：0件 ・その他、環境浄化活動、相談活動等を実施した。 	4																										

3 管理・執行を教育長に委任する事務	(3)	教育センター	②	教育研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・研究協力校・研究グループを委嘱し。調査研究活動の支援を行い、清水の教育向上に努めた。 ・教育研究推進事業による研究（土佐清水市教育研究集会の支援）を推進し、教職員の資質・指導力向上のための支援を行った。 ・ホームページの作成・更新や、特別支援教育の取り組みについて支援を行った。 ・各学校の状況把握、欠席調査、情報交換のため定期的な学校訪問（各小中学校を1回/月） ・保幼小中高教員によるあすなるネットワークの構築、教育支援コーディネーターの育成（年間5回） ・副読本編集委員会の開催（委員会6回・小委員会4回） ・教育資料の収集、研究所だよりの定期発行、教育研究所運営審議会の開催（3回/年） 	4
			③	適応指導教室	<ul style="list-style-type: none"> ・通室生に対し「心の居場所」を提供し、自主性・社会性を育成する支援を行った。 ・個々への適応指導を計画的に行い、学力への不安解消を図った。 ・学校や保護者、スクールカウンセラーと連携し、自立や学校復帰に向けた援助を行った。（相談10件、スクールカウンセラー支援38件） ・R2年度利用者：18名（内別室登校6名） ・あすなる卒業生進学校との情報交換を行った。 	4
			④	スクールソーシャルワーカー	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校等生徒指導上の課題に対応するためにSSWを2名配置して、児童生徒や保護者の相談支援や校内体制の支援に努めた。（小学校4人・中学校17人・高等学校1人 学校訪問309回 家庭訪問297回） 	4
			⑤	家庭児童相談室	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待対応や児童家庭福祉に係る各般の問題や相談等について、児童が有する問題や児童の真のニーズ、児童の置かれた環境の状況等を的確に捉え、個々に応じた支援を行った。 ・児童福祉に係る多様な機関との連携した取り組みにより、よりきめ細やかな対応、迅速かつ効果的な援助に努め、児童福祉の向上・その権利の擁護に務めた。 ・要保護児童対策地域協議会の開催（代表者会議2回・実務者会議3回） ・家庭児童相談室相談11件、要保護児童対策地域協議会対応ケース数（継続）7件 	4

4段階評価の目安

- 4・・・目標を十分達成している
- 3・・・目標をほぼ達成している
- 2・・・目標に対しやや不十分
- 1・・・改善を要する

令和3年度(令和2年度対象)教育委員会の
点検・評価報告書に対する意見(学識経験者の知見)

1 教育委員会の活動について

教育委員として、高知県市町村教育委員会連合会等主催の研修会などへの参加を通じて自己研鑽に取り組まれるとともに、市内全小中学校・保育所等や中央公民館などの教育委員会所管施設を訪問し、教職員などとの意見交換や授業視察などを通じて、本市教育現場等の現状把握に努める積極的姿勢が認められる。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、市長が主宰する総合教育会議においては、市長と今後の教育行政の方向性等について協議・調整などが図られている。

また、臨時教育委員会を含め17回の教育委員会審議においては、教育行政の基本的な方針として、土佐清水市教育振興基本計画Ⅲ（令和3年度～6年度）の策定をはじめ、土佐清水市立学校教職員の服務に関する規則や子ども家庭総合支援拠点設置要綱、ファミリーサポートセンター事業委託業者の選定、教育委員会事務局の予算、教職員・教育委員会職員の人事異動の承認など、教育委員会に関する条例・規則や議会の議決を経るべき事案について適正に処理されている。

2 こども未来課に関すること

国のかかげるGIGAスクール構想として令和5年度までに児童生徒に一人一台タブレットを整備する計画だったものを、新型コロナウイルス感染症など、感染症の発生や災害等に備えるため、「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」として、令和2年度に前倒して市内小中学校全児童生徒にタブレット及び学校のWi-Fi環境を整備したことは、現状に即した対応が図られていると認められる。

新型コロナウイルス感染症対策として、奨学資金対象者応援事業として1万円相当の土佐清水市の特産品等を奨学資金対象者へ送付したり、学校や保育所等に消毒液、フェイスシールド、非接触型体温計などを購入し子どもたちが安心・安全に過ごせる環境整備に努めたことが認められる。

また、小中学校では南海トラフ地震等の災害から子どもたちの生命を守るため、高知県実践的防災教育推進事業等を導入し、専門知識をもった講師による避難訓練・防災教育・公開授業等を実施し、危険を予測し、自らの判断で回避する能力の育成や、更に中学生には学習した知識・実践を通じ、自らの安全を確保し地震が落ち着けば避難者等の支援をする教育に努め、保育所等においても、毎月必ず避難訓練や保護者への引き渡し訓練等を実施し、子どもたちの安全を確保するために取り組んでおり、今後も関係機関と連携のうえ、子どもたちの命を守る取り組みが継続されることを期待する。

3 生涯学習課に関すること

社会教育施設である中央公民館、市民図書館、市民文化会館、市民体育館等の管理運営を指定管理者に行わせることにより、経費削減と住民サービスの向上が図られ、令和2年度は

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった事業もあったが各指定管理者それぞれの活動も十分評価できる。

文化祭や美術展覧会の開催による文化・芸能活動の充実や、市史刊行に向け、執筆活動や調査研究も順調に進んでいることが見受けられる。「土佐清水市史」が、本市の歴史を明らかにし、市民の地域に対する関心と認識が高まり、貴重な自然や歴史・文化遺産が市民共有の財産として将来に継承されるものとなることを期待する。

放課後児童健全育成事業、放課後子ども教室推進事業では、小学校の夏休みにも、教室の開設を行うなど児童の健全育成、子育て支援策にも積極的に取り組まれており、今後も委託先や事業主体などと連携した取り組みを期待する。

4 教育センターに関すること

学校・警察などと連携した早朝・夜間補導やスクールガードリーダーによる登下校時の見守り活動、各地区青少年を守る会活動の推進、スクールソーシャルワーカーを配置しての相談支援など子どもの健全育成に向けた取り組みや、家庭相談員による児童家庭福祉の向上に向けた取り組みも認められた。

また、各校における教育内容及び教育方法の研究活動の支援、教職員を対象とした教育研究推進事業の開催・副読本の作成等により本市教育の振興に取り組んでいる。

このほか、引きこもり者への家庭訪問や、適応指導教室を開設し不登校・別室登校生徒の受け入れ・家庭訪問による支援などが継続して行われており、今後も組織的な教育活動の助長及び住民福祉の増進に取り組まれることも期待する。

教育委員会をはじめ各部局においては、関係法令や土佐清水市教育振興基本計画Ⅱ、国による制度改正に伴った適切な取り組みがなされており、今後も本市教育の更なる充実、向上をめざして、引き続き積極的に取り組まれることを期待する。

令和 3年 8月 1日

評価者 土佐清水市代表監査委員 山本 豊